

しを支える!! 礎式



聖串法奠をする佐藤知事



聖串法奠を行う町長

十一月九日、黒森川（高蒲谷地内）に建設を進めているこまちダム定の礎式が、本体工事現場において行われました。

修祓式（しゅばつしき）では、神事がおごそかに行われ、佐藤県知事ほか関係者が玉串奉奠（たまぐしほうてん）を行い、工事の安全を祈願いたしました。続いて行われた定礎式では、県建設事務所長、奥村・秋田JV所長を先導に定礎石（工事現場から採取された御影石でつくられた礎石）が先崎太吉さんら木遣り隊（きやりたい）の唄とともに、おごそかに搬入されました。

県知事より定礎宣言がなされた後、礎石をセメントで固める鎮定の儀（ちんていのぎ）を、知事（大臣代理）国土交通省河川局治水課企画専門官、県議会議員、町長が行い、次に、セメントをならす齋饗の儀（いみぎ）を、セメントを固定する齋植の儀（いみぎ）（のぎ）がそれぞれ行われました。

また、飯豊、浮金、小戸神、小野新町、雁股田分校、夏井第一、夏井第二の小学校の各代表児童七名により、こまちダムに託す将来の夢や願いなど思



定礎石の埋納

いを込めた言葉をしたためた「ふるさと石」が定礎石と共に埋納されました。

続いて、「こまちダム賛歌」が小野新町小学校合唱部により披露され、子供たちの透き通った歌声が会場いっぱい響きわたりました。

町議会議員の万歳三唱が行われ、これに合わせて田村地方町村会長、田村地方町村議会議長会長、小野博康こまちダム地権者会長、小野政治、矢吹徳弥、矢内雅人副会長によるくす玉開披が行われる中、コンクリートホッパーにより定礎石が埋納されました。

会場を小野町多目的研修集会施設大ホールに移し、定礎式典と昼食会が行われました。式典では、知事が「治水・利水はもとより周辺の環境にも配慮をし、平成十八年度の完成に向けて最善を尽くしていく」とあいさつされ、県建設事務所長が工事経過報告を行い、来賓からは国土交通大臣代理、県議会議長がそれぞれ祝辞を述べられました。

次に、施工者から工事の安全確保と早期完成を誓うあいさつを行いました。

昼食会では、こまちダム建設促進協議会長の春山町長が「こまちダム定礎



木遣り隊の皆さん



こまちダム賛歌の披露